

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんとそのご家族の方へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	涙道内視鏡補助下涙小管炎手術の術後成績
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	眼形成・眼窩・涙道外科
研究責任者	准教授 高橋靖弘
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	涙小管炎では、原因菌が涙小管内涙石と呼ばれる塊を形成します。手術で涙石を確実に除去することが症状改善や再発予防に重要となります。これまでは盲目的に鋭匙を用いて涙石を除去したり、涙小管を切開して直視下で涙石が除去されていましたが、前者は非確実的な手技であり、後者は手術侵襲が大きく、術後瘢痕により症状の改善が得られないことがあります。当科では以前より鋭匙を用いて涙石を除去した後に涙道内視鏡で涙石が全て除去されているかを確認していました。本研究では、涙道内視鏡補助下涙小管炎手術が既報の手術より手術成功率が高いか否かを調べます。
対象となる患者さん	2014年1月から2020年9月までに、涙小管炎に対し、涙道内視鏡補助下涙小管炎手術を受けた患者さん。
研究の方法	診療情報から、術後成績を調べます。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2021年10月31日
研究に用いる試料・情報	情報：年齢、性別、術側、症状など
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2021年9月30日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	なし
問い合わせ先	愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科

担当者：准教授 高橋靖弘

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 12314)